



季節を感じる献立に心を込めて ～給食ボランティア「あじさいの会」～



民生委員との会話も楽しみの一つ

今回は、菜めしやしぐれ煮、だし巻き、豆腐団子などの献立で、味付けは薄味ですが、だしをしっかりと取り深い味わいの弁当が届けられました。また、毎年12月には歳末たすけあいの弁当の配布にひと役。75歳以上の一人暮らし高齢者約100食分を社協の委託で準備されます。煮しめや黒豆、くりきんとんなどの手作り料理が大変好評です。

あじさいの会 年間スケジュール(予定)

- ◇ふれあい弁当調理 (7・8・10・12月除く)
- ◇男の料理講習会(夏期2回)
- ◇歳末たすけあいの弁当調理(12月)
- ◇自主講座(年2回)
- ◇こひつじの苑喫茶行事ボランティア

お知らせ

あじさいの会では、一緒に活動していただける方を募集しています。興味のある方は、
南丹市社会福祉協議会園部支所
Tel: (0771) 62-4125までご連絡ください。

あじさいの会
代表 犬石洋子さん
(連絡は社協園部支所まで)

旬の野菜を十分取り入れ、パランスの取れた季節感あふれる「ふれあい弁当」を園部町内の一人暮らしのお年寄りや高齢者世帯の方々に届けている「あじさいの会」は、昭和63年2月に発足。会員数は32人で、毎月第3水曜日(7・8・10・12月を除く)に心を込めた弁当を2班体制で1回約90食分を作られています。(利用料1食300円)

あじさいの会の立ち上げから活動されている犬石洋子さんは「民生委員の方から、高齢者への声掛けや見守りの活動の際に手作りの弁当を配りたい、と相談があり、食に携わっているメンバーが集まって活動を始めました。会の名称は、四季折々の食材を生かして、



▲手際よく色とりどりのおかずが並びおいしそう

栄養バランスを考え、味(あじ)も多彩(さい)に取り入れたい。また、あじさいの花は小さな花が寄り添って大きな花を咲かせることから「ネーミングしました」と話してくださいました。

対象となる方の把握や配食は民生委員や配食ボランティアが担当。弁当の包み紙は「はとポッポ」、誕生日のプレゼントは「パッチワークづくりの会」や「いきいきボランティアサークル」が協力され、ふれあいの輪で活動を継続されています。10年以上利用している小林春子さんは「弁当の日は、食事の支度をしなくていいからゆつくりできる。季節を感じる献立なので毎月楽しみにしています」と笑顔で話してくださいました。

宝石箱のような「ふれあい弁当」を開けると、四季折々の旬の食材やかかわっている方々の温もりがあふれてくる。皆さんの笑顔に心が和みました。